

*子ども学特別演習(笠)

授業科目	*子ども学特別演習(笠)					実務家教員担当科目	-				
単位	2.	履修	必修	開講年次	2	開講時期	通年				
担当教員	笠 修彰										
授業概要	こども学特別演習は、保育に関連する学びの総合的な科目として位置付けられている。こども学基礎演習やその他の科目で学んだことを土台として、ゼミごとにテーマや活動内容を決めて、それぞれに実践的に学びを深める科目である。										
授業形態	演習（ゼミナール）					授業方法					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 主体的に課題を設定し、実践や演習方法を考え、実行することができる。</p> <p>2. 研究活動やその成果に対して、適切な自己評価および相互評価ができる。</p> <p>3. ゼミ内外の学生、あるいは学外者と協力して、保育に関連する行事や活動、研究発表などを企画運営することができる。</p> <p>積極的にゼミ活動に参加し、計画的かつ継続的に研究課題に取り組むことができる。</p>										
理想的レベル	研究課題に対し、ゼミ教員と相談しながら主体的に進めることができ、その成果を他者に分かりやすく表現することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）					備考			
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）			40%								
レポート外の提出物											
その他			60%								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	CH21402J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
ゼミ活動の方向性を考える										1	
授業計画											
第1回	<p>テーマ：授業ガイダンス</p> <p>ゼミごとに1年間の授業運営や活動についてディスカッションする。</p>										
テキスト	なし										
参考図書・教材／データベース	研究課題に関連した参考図書、データベース、雑誌をその都度ゼミ活動の中で紹介します。										

雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	研究課題によって課題が異なります。具体的な内容は、研究課題が明確になった後指導教員が指示します。「その他」では、ゼミ活動への積極的な参加態度を評価します。
学生への メッセー ジ・コメ ント	<p>授業での学びだけでなく、実習やボランティアなどの体験全てがベースとなります。</p> <p>(授業の開講について)基本的には、時間割上の時間帯に前期 15 回・後期 15 回で授業は行われますが、ゼミ活動の内容次第では補講時間などで集中的に授業を実施することがあります。</p> <p>研究課題によっては、授業時に学外での見学・実践・調査、または学外者との交流や共同製作などを行います。</p> <p>ゼミ活動は、指導教員とゼミ学生が検討し作成した計画に沿って活動を行います。補講など授業が開講される日時の変更などには注意して下さい。</p> <p>(授業以外の学習方法)活動内容によっては、事前準備・片付けなど時間外でゼミ活動を行う場合があります。また、与えられた研究テーマについて事前に調べておく・まとめるなどの授業準備が必要なことがあります。</p> <p>(学生へのメッセージ)ゼミ活動では、自分の研究課題を持って主体的・積極的に活動に参加しましょう。研究課題や研究テーマは与えられるものではなく、学生の皆さんが学びたい内容によって担当教員と設定するものです。充実したゼミ活動は、保育の理解や課題解決能力の獲得だけでなく、共に学ぶ仲間を得ることができ、これからの人生の糧となります。</p>